

青梅大祭

数十万人の人出で賑わう、関東有数の山車祭典



じゃらんぼ 手古舞

各町内ごとに趣向をこらした衣装と髪型。金棒の鳴らし方も違う。
もともとは市内の芸者衆がつとめたが、現在は小学生の男女がつとめる。

毎年5月2日・3日

この日、市内青梅街道は大渋滞します



さいれいおとこ 祭礼男

各町内の男衆の中から選ばれ、山車を先導して、拍子木を打って山車の進行の合図をする祭の花形。

じゃらんぼ 手古舞



青梅大祭



12町内12台の山車がお囃子を競う。お囃子にも種類があり踊り手や場面によってかえるが、基本的には喧嘩囃子で、山車どおしの競り合いには見応え(聞き応え)がある。

5月2日は宵宮で町内曳きが中心(1:00PM~6:00PM)。5月3日が本宮で祭本番(10:00AM~6:00PM)。

上記時間は、
山車の巡行時間です

この日、
市内青梅街道は
大渋滞します

